



〈特別企画コンファレンス〉

# 「サービス機能のオフショアリングを成功させるために」 ～総務、人事、経理、研究開発機能等を対象に～

プログラム

13:00～13:10

開会挨拶

富士通総研 代表取締役会長 高島 章

## 第一部

研究報告

13:10～13:40

【研究報告①】

「サービス機能の国際展開の必要性と課題」

富士通総研 経済研究所 主任研究員 浜屋 敏

まず、サービス機能とは何かを定義し、日本企業においてサービス機能の国際展開が遅れている実態と理由について、米国の比較などを通じて考察する。次いで、国際展開のメリットや限界、留意点について、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）、ITO（ITアウトソーシング）、KPO（ナレッジ・プロセス・アウトソーシング）といったアウトソーシングの視点を中心にして整理する。

13:40～14:10

【研究報告②】

「国際展開を成功に導く戦略とロードマップ」

富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 金 堅敏

コスト削減からプロフィットセンター化、さらに本業業務と統合したグローバル展開、といった戦略目標に照らして推進されるサービス機能の国際展開を、実際の企業の取り組みをケーススタディとして紹介しながら、グレードアップする際の課題やポイントについて検証する。「間接業務」と言われてきたサービス機能を、国際展開によって事業化し、本業業務と統合して、グローバル戦略を実現するためのロードマップを示す。

14:10～14:40

【研究報告③】

「国際展開に必要なガバナンス体制」

富士通総研 経済研究所 主任研究員 Martin Schulz

オフショアリングに関する最終的な課題は、企業のガバナンス構造を真にグローバルなレベルに引き上げることである。この報告では、欧米企業のケーススタディに基づき、日本企業とは異なるグローバル化戦略を分析し、メリットやリスクを整理する。さらに、アウトソーシングの活用や自社のリージョナルヘッドクォーターの位置づけについても分析し、日本企業の最適なグローバル化戦略を検討する。

14:40～15:00

休憩

## 第二部

パネルディスカッション

15:00～16:55

パネルディスカッション

「企業サービス機能の国際展開の実際」

パネリストの方々に、社内管理業務の大連へのアウトソーシング、自動車部品開発やCAD解析のベトナムへの展開、グローバルICTソリューション企業のガバナンスについて、それぞれのお立場から具体的なお話を伺った後、国際展開に関わる課題やその解決方法などについて議論する。

【パネリスト】 株式会社シェアード・ウイン

株式会社日産テクノ

T-Systemsジャパン株式会社

株式会社富士通総研 経済研究所

株式会社富士通総研 経済研究所

【コーディネーター】 株式会社富士通総研 経済研究所

代表取締役社長 田中 幸三氏

代表取締役社長 明石 彰氏

代表取締役社長 Nicolas Soergel氏

上席主任研究員 金 堅敏

主任研究員 Martin Schulz

主任研究員 浜屋 敏

16:55～17:00

閉会挨拶

富士通総研 専務取締役 根津利三郎